

社 報



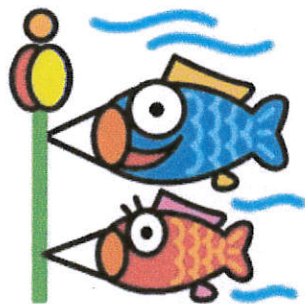
アイデアを探せ

型枠工事では職人さんの手によってモノが作られていきます。クレーンなどの重機も使用しますが、最終的には人の手です。

ですから型枠工事の生産性を高め、コストを削減することは、職人さんが楽に早く仕事ができるように考えねばなりません。

そのために、職人さんが体力的に大変とか、手間がかかる部分を改善していく必要があります。

現場にはまだまだ改善の余地があると思います。皆でチャレンジしましょう！



チャレンジを続ける

日経コンストラクションという雑誌があります。インターネットで登録すると、メールマガジンが送られてきます。このメールマガジンには建設業界のいろいろな情報が記載されていて、結構ためになるので、無料会員に登録して購読しています。

先日、そのメルマガに【すごい建設マシン】水中バックホー開発物語という記事がありました。

すごい機械があるものだと感心して記事を読んでもみると、さらなる驚きがありました。

開発したのは、大手の機械メーカーではなく、沖縄の中小土木会社だったのです。極東建設株式会社は年商が8億円と言いますから、当社と同規模というか、売上規模では当社より少ない会社が、何年も前から開発を続けたのです。しかも、中古のバックホーを改良して、水中でダイバーが操縦できるようにしたのです。

今では大手の港湾建設会社からの引き合いもあり、東北大地震で破壊された、漁港や防波堤の修理や建設に大活躍しているとのことでした。



(写真は極東建設HPより転載)

この記事を読んだ時に、この会社は「すごい！」と思いました。

正直、会社規模など関係なく、当社よりはるかに「すごい！」と思いました。

会社の存在意義・仕事にかける情熱・チャレンジ精神・無し遂げる努力……。他の中小企業がチャレンジを続ける姿を見て、当社も発奮せずにはおられません……。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

整理整頓で始まり、整理整頓で終わる

現場の安全はやかましく言われます。もし事故があれば、人の命が無くなるかもしれない、取り返しのつかない事態が発生するのですから、当然です。

そして安全の基本は表題にある、「整理整頓」です。

なぜ安全の基本が整理整頓なのか。例えば机の上が整理整頓されてなく

ても、人命が無くなることはありません。人命に関わる、高所の足場や鉄骨の梁上が整理整頓されず、乱雑なままでの作業は考えられません。

人間は普段の性質というか習慣がいろんな場面で影響を与えます。家であろうが机の上であろうが、普段からの整理整頓が大切です。

2013年 安全成績

■現場災害 H25.1.1-H25.5.4

休業災害	-----	0
不休災害	-----	0
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	0

■交通災害 H25.1.1-H25.5.4

人身災害	-----	0
物損災害	-----	1
合計	-----	1